

北海道における 包括的な支援体制

A circular portrait of Professor Tetsuya Nishida. He is a middle-aged man with grey hair, a mustache, and a goatee, wearing glasses. He is dressed in a white shirt, a striped tie, and a patterned vest. The background is a blurred green landscape.

★参加特典★

2月15日 (日)



 **info@hacd.jp**
 **011-801-7450**

主催：北海道地域福祉学会 共催：日本地域福祉学会北海道支部
後援：社会福祉法人北海道社会福祉協議会／一般社団法人Wellbe Design

第1部（対面実施のみ）

自由研究発表・実践研究発表

- ・当学会会員による発表を行います。
- ・会員以外の皆様もご参加いただけます。
- ・発表内容は2月9日頃に当学会ホームページに公開します。

申込期日

2月9日(月)

研究発表は2月6日(金)締め切り

第2部（対面・オンライン併用）

講演 包括的支援体制の構築と地域づくり



講師 菱沼幹男氏

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉計画学科 教授
日本地域福祉学会理事



市社会福祉協議会、デイサービスセンター生活相談員等を経て現職。専門は、地域福祉、コミュニティソーシャルワーク。東京、埼玉を中心に各地の地域福祉計画、地域福祉活動計画策定・改定に関わる中で、重層的支援体制整備事業のアドバイザーも務める。主な著書として『コミュニティソーシャルワーク』有斐閣、2024年。

シンポジウム：地域福祉実践を基盤にした北海道内の多様な実践

シンポジスト

- ① 生活困窮者支援と地域福祉の文脈からみた包括的な相談支援・地域づくり
北星学園大学 社会福祉学部 教授／本学会副会長 松岡 是伸 氏
- ② 圏域ごとに支援員を配置して展開する地域支援
社会福祉法人旭川市社会福祉協議会 地域共生課 課長補佐（統括支援員）柴田 淳 氏
- ③ 包括的支援体制における多機関共同の仕組みづくり
社会福祉法人津別町社会福祉協議会 地域福祉係 係長 立花 さおり 氏

参加費

①会員及び会員団体：無料

②非会員：2,000円

③学生（院生を除く）：無料

④団体：5,000円

- ・同一組織の所属員であれば何名でも参加可能
- ・当学会の団体会員は①の区分とし、無料で参加可能

※必ず開催要綱を確認してからお申し込みください。

北海道地域福祉学会について

当学会は1992年に「市町村は地域福祉を担えるか」をテーマに開催された第6回日本地域福祉学会北海道大会を契機に1993年10月9日に創設し、以来、福祉・保健・医療のみならずNPO等の市民団体などの幅広い分野の会員と共に30年にわたる地域福祉研究を行ってきました。

北海道内外の地域福祉実践者や研究者など約100名が所属し、研究活動や機関紙「北海道地域福祉研究」の発行、地域福祉優秀実践賞の顕彰を行っています。

地域福祉にかかわる皆さまの入会を心よりお待ちしております。

年会費

個人5,000円

団体10,000円